炉、厨房設備、温風暖房機、ボイラー、給湯湯沸設備、 乾燥設備、サウナ設備、ヒートポンプ冷暖房機、火花を とずる設備、放電加工機

(あて先) ホ	委 士	: 池 大 巨							年	月		Ħ
	<i>α)</i> < <i>)</i> _L /1	尚平川	刊的政				届 出 者						
						住 所							
										(電話			番)
							氏 名						
防火 対象 物	所在	地								(電話			番)
	名	称					主要用证	金					
設置場所	用途				床面積	,		\mathbf{m}^2	沙叶田凯 供於				
	構	造			階層				消防用設備等				
届出設備	設備の種類						_						
	着工(予定)年月		F月日		年月		竣工	(子)	定)年月日		年	月	日
	設備の概要												
	使用する燃料、 熱源		1	種			類		使	用]	量	
			r.										
	安全装置												
取扱責任者の職氏名													
工事施工者		住所	所						(電話			番)	
上尹	加工有	氏/	名										
※ 受			付		欄		*	経	過		欄		
/++: -+:													

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3 階層欄には、屋外に設置する設備にあっては「屋外」と記入すること。
- 4 設備の種類欄には鉄鋼溶解炉、暖房用熱風炉、業務用厨房設備等と記入すること。
- 5 設備の概要欄に書き込めない事項は、別紙に記載して添付すること。
- 6 火花を生ずる設備及び放電加工機以外の設備にあっては、使用量欄には1時間当たりの入力を記入すること。この際、電気を熱源とする設備にあっては、1キロワットを860キロカロリーに換算すること。
- 7 ※印の欄は、記入しないこと。
- 8 当該設備の設計図書を添付すること。